

岡山大学腫瘍病理(第二病理)入局後のコース

これまでの基本コース

後期研修
(病理専門研修)

第二病理大学院(院生)
+ 病院病理診断科(医員)

研究
診断

並行して行う(3-4年間)

学位

専門医

大学 or 市中病院など

Pros: 早く学位を取り、後は研究を進展させたり、診断に集中できる。

Cons: 両立が大変。興味のある疾患や臓器が定まっていない時点から研究を始める

今後の予定コース

後期研修/専攻医
(病理専門研修)

A. 研究先行コース
左と同じ

研究

+ 診断

学位

専門医

B. 診断先行コース

病理診断科

大学病院 and/or 市中病院

3年間

診断

専門医

第二病理 or 他ラボ 大学院

3-4年間

研究

+ 診断

学位

大学 or 市中病院など

Pros: はじめは診断に専念し、後から、興味のある分野の研究、診断に集中できる。

Cons: Aに比べて学位取得までに時間がかかる(ただし臨床科では一般的な所要時間)

C. 診断特化コース

病理診断科

大学病院 and/or 市中病院

3年間

診断

専門医

病理診断科

(大学病院 or) 市中病院

診断

Pros: 病理専門医は取得することができる。

Cons: 専門的に学ぶ機会が乏しい。就職先が限定される場合がある。
(大学の助教以上は学位が必須。大規模病院や公的機関の部長も必須のことが多い)